

# ミラコン～未来を見通すコンテスト～

“視点を価値に、経験を未来に”

第7回プレゼンカップ全国大会

Final Stage(全国大会審査・結果発表)

令和6年12月11日(水)

午後1時30分～午後3時30分

本会場:心身障害児総合医療療育センター  
療育研修所

サテライト会場:各ブロック応募校

全国特別支援学校肢体不自由教育校長会  
社会福祉法人日本肢体不自由児協会





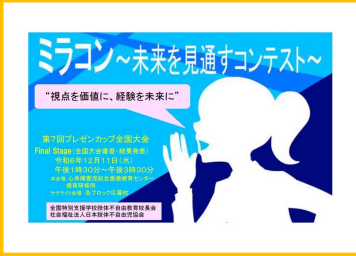
**令和6年12月11日（水） 13：30～15：30**  
**心身障害者療育医療センター研修棟**  
**特設ステージ**

**当日は全肢長加盟校に限定ライブ配信予定**



ミラコン2023  
第6回プレゼンカップ全国大会  
YouTube限定ライブ配信の  
動画から抜粋





# 会場の紹介

**ミラコン共催者である社会福祉法人日本肢体不自由児協会が  
厚生労働省の委託をうけて運営しているセンターです**

## 「整肢療護園」創設

当センターは日本で最初の肢体不自由児施設「整肢療護園」を発足の母体としています。「整肢療護園」は故高木憲次博士（東大名誉教授、整形外科）の大正時代からの熱意と努力により昭和17年5月に創設されました。

「療育」という言葉は今日では広く用いられていますが、これは障害児には、医療・教育・職能の賦与を三つの柱として生活すべての面にわたる総合的な指導が必要だとして高木先生が創られたものです。

その後第二次大戦中の東京大空襲により施設の大部分を失ったため、細々と療育の燈火をつなぎながら、高木憲次博士が国立肢体不自由児施設の設置を粘り強く要望しました。その結果、国は国費にて昭和26年10月に整肢療護園を開園して、日本肢体不自由児協会に運営を委託し、国立・民営といういわゆる「国のモデル施設」として設置され、運営が開始されました。

**心身障害者療育医療センター ホームページより抜粋**



## 肢体不自由児療育の父、高木憲次先生

日本肢体不自由児協会設立80周年・整肢療護園創立80周年記念事業として、高木憲次記念ミュージアムが令和4年10月に設置されました。



心身障害者療育医療センター ホームページより抜粋



# 日本肢体不自由児協会発行

## 「はげみ」

### 令和5年4・5月号から抜粋

#### コラム

### サクラ咲く ミラコン挑戦を足掛かりに

東京都立光明学園 総務部長 田村 康二朗

11月のある日、本校高等部2年の新井 さらさんは、「障害者を支えるカウンセラーになる」どの夢の実現に向けて、志願する大学の面接に臨んでいました。

面接官A：提出されたキャリアシートが書かれた。ミラコン挑戦とは、どのような場なのですか？

新井さん：全国の肢体不自由特別支援学校の高校生が、未来をより良くするためのプレゼン、社会への提言を述べて競い合うコンテストです。面接官A：あなたは何を發表されたのですか？

新井さん：私は過去2年間、障害者に対する社会の意識についての提言をプレゼンしました。当初は、社会全体のバリアフリー施設の少なさを問題点として考えていましたが、調べ進めていく中で、問題はもっと根深いことが分かり、プレゼン内容も変わって

てきました。面接官B：どのようなことを問題視されましたか？

新井さん：バリアフリー施設が少なすぎるのは、社会が私たちに障害者のニーズを良く知らないことから生じている原因もあり、その原因の一つは、障害者自身が自らに必要な支援を社会に向けて十分に発信できていないことと仮説を立ててみました。結果として、ウェブ上や書籍を調べてみても、そうした情報は豊富ではありませんでした。当記者としてのニーズ発信の必要性も含めてプレゼン、社会への提言、にまとめて、国語の先生にみていただいたました。

面接官A：そのプレゼンが、どのような評価でしたか？

新井さん：先生からは、お褒めの言葉をいただきましたのでミラコン東京地区大会に挑戦したところ、優勝者として全国大会出場権を得られました。さらにファイナルステージでは全国第3位の栄冠を頂戴しました。面接官B：第3位ですか。それは素晴らしいです。

面接官A：ミラコンを通してあなた自身に変化はありましたか？

新井さん：はい。私は最初、人前で話すことが苦手でしたが、ミラコンが自信につながりました。また、今まで気づかずに生かっていた「社会には障害者として生きる上での改善すべき課題はまだあること」が意識でき、その解決に向けて自分自身が参画できることを自覚できるようになりました。(以下省略)

進路の高校生たちには、さきさまを○甲子園・○○全国大会などに出場するチャンスがあり、その挑戦結果を堂々と進路決定に生かしています。肢体不自由の高校生たちにも、そうした機会をどの因いで創設されたプレゼンコンテストには、多数の生徒が全国各地から挑戦しています。新井さんもその一人です。4月からは大學生。夢に向かって進め！

日本肢体不自由児協会発行はげみ令和5年4・5月号から転載

## ミラコン～未来を見通すコンテスト～

“視点を価値に、経験を未来に”

第7回プレゼンカップ全国大会  
Final Stage (全国大会審査・結果発表)  
令和6年12月11日(水)  
午後1時30分～午後3時30分  
※会場・心身障害児施設多摩学園センター  
特別活動部  
サクラの森 東ブロック協議会

全国特別支援学校肢体不自由教育校長会  
社会福祉法人日本肢体不自由児協会

## 大学入試

## 面接での

## エピソード